

<全体分析>

試験時間 理科2科目で100分

解答問題数 大問4題

解答形式(医学部選択問題 1, 2, 3, 4)
記述式

分量・難易(前年比較)(医学部選択問題 1, 2, 3, 4)

分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

* 2022年度 医学部選択問題との比較

出題の特徴(医学部選択問題 1, 2, 3, 4)

典型的な問題が出題されることが多い。また、計算過程を記述させる問題や論述問題もよく出題される。

その他トピックス(医学部選択問題 1, 2, 3, 4)

2で一部の教科書に記載のない、 PbI_2 の色が出題された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野 テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	空欄補充, 記述, 計算	理論	化学	希薄溶液, コロイド, 浸透圧, タンパク質の二量体形成反応の平衡	標準
2	空欄補充, 記述, 計算 論述	無機 理論	化学	I 陽イオンおよび陰イオンの反応と性質 II モール法	標準
3	空欄補充, 記述, 計算 論述	有機	化学	C_4H_8 の炭化水素の反応と性質, $C_3H_6O_2$ の異性体, ^{18}O を用いたエステル化	標準
4	空欄補充, 選択, 記述, 計算, 論述	有機	化学	ナイロン6, ナイロン610, ラクチド, 生ゴム, リモネン, シリコーンゴム, SBR	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

多くの問題が、基本から標準的な内容の問題である。標準的、かつ、典型的な問題の練習をしっかりと積み、そのような問題で確実に得点できる力を養っておく必要がある。例年、計算過程の記述が求められるため、普段の練習からそれを意識し、論理的に、かつ、簡潔に表現する練習を積んでおきたい。さらに、論述問題もよく出題されるため、過去問などを通して論述対策も忘れないように。また、近年、教科書の発展内容からの出題も見られる。可能であれば、教科書の発展内容にも目を通しておきたい。